

技術審査証明 17

技術名称 鋼製スリットえん堤 T 型

審査証明取得日：平成 19 年 12 月 12 日 審査証明取得会社：日鐵住金建材株式会社

技術の詳細に関する URL：<http://www.ns-kenzai.co.jp>

技術の特徴・概要

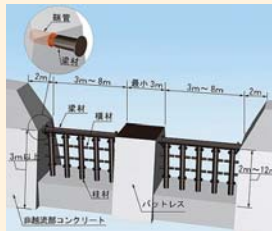
鋼製スリットえん堤 T 型は、土石流・流木の捕捉を目的とした鋼管フレーム構造による閉塞型の透過型砂防えん堤で、「土石流・流木対策設計技術指針」にも対応しています。鋼製フレームは、梁材と柱材で構成され、基礎コンクリートと非越流部（またはバットレス）コンクリートの 3 面で支持する構造としています。梁材の非越流部（ま

たはバットレス）コンクリートへの接続には鞘管構造を採用し、施工性の向上を図っています。また、鋼製フレームを支持する左右岸 2m の非越流部コンクリート断面は、鋼製フレームに作用する荷重の一部を負担することから、補強材を配置することによって安全性の向上を図っています。

現地での施工状態や技術が活用されている図・写真・コメント等



施工イメージ図 (CG) 下流視



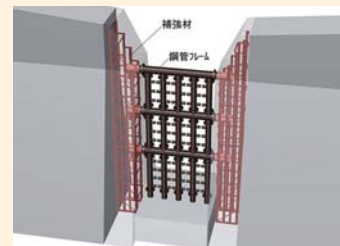
構造概要図
(多径間) 上流視



試験施工状況

実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題について

現在のところ、実際の現場で施工した実績はありません（平成 20 年 11 月現在）。試験施工では、鋼製部の施工の際、非越流部（またはバットレス）コンクリートに配置される鞘管の施工精度が要求されるため、今後施工性の向上が図れるように改善に取り組んでいく予定です。



補強材透視図
(上流視)

技術のアピールポイント、得意とする現場条件や施工法と比較して有利な点など

鋼製スリットえん堤 T 型の特長は以下の通りです。

- ・鋼製フレームは、基礎および非越流部（またはバットレス）の 3 面コンクリートで支持されるため、一部の部材が破損した場合でも全体の倒壊につながらないリダンダンシーの高い構造です。
- ・ 3 面支持による平面格子構造のため、鋼製フレー

ムの鋼材使用量および基礎コンクリート量を大幅に削減することが可能です。

- ・部材が破損した場合においても脱着が容易な鞘管構造であるため、速やかな修復が可能です。また、平面格子構造のため、捕捉した礫や流木の除去作業が容易です。